

# 平成28年度 みゆき会病院 病院指標

[医療法における病院等の広告規制について（厚生労働省）](#)

1. [年齢階級別退院患者数](#)
2. [診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）](#)
3. [初発の5大癌のUICC病期分類並びに再発患者数](#)
4. [成人市中肺炎の重症度別患者数等](#)
5. [脳梗塞のICD10別患者数等](#)
6. [診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）](#)
7. [その他（D I C、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）](#)

## 年齢階級別退院患者数

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	2	22	13	19	36	55	185	224	368	188

60歳以上の入院患者割合は86.8%です。他の急性期病院や地域の福祉施設と連携を行い、リハビリテーションにも力を入れています。

## 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

### ■整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
160690xx99xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む。） 手術なし 定義副傷病 なし	78	54.97	20.57	1.28%	79.81	
160800xx01xxxx	股関節大腿近位骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	64	62.13	27.63	15.63%	83.08	
070343xx01x0xx	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。） 腰部骨盤、不安定椎 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間又は多椎弓の場合を含む。） 前方椎体固定等 手術・処置等2 なし	43	21.74	22.55	2.33%	64.14	
070343xx97x0xx	脊柱管狭窄（脊椎症を含む。） 腰部骨盤、不安定椎 その他の手術あり 手術・処置等2 なし	40	31.50	17.99	0.00%	69.15	
070350xx97xxxx	椎間板変性、ヘルニア その他の手術あり	31	22.29	17.07	0.00%	55.10	

整形外科では、胸椎・腰椎骨折の保存治療を最も多く行っています。次いで、大腿骨頸部骨折に対する手術治療、脊柱管狭窄症に対する手術治療を多く行っています。急性期の治療後、地域包括病床や回復期リハビリテーション病棟に移り、在宅復帰を目指したりリハビリテーションを行う患者さんも多いため、平均在院日数が全国平均よりも長くなっています。大腿骨頸部骨折では近隣の精神科病院からの患者さんを受け入れ、治療後は元の病院に戻られるため、他の疾患よりも転院率が高くなっています。

### ■内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	55	44.16	21.25	1.82%	86.29	
060100xx01xx0x	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。） 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 定義副傷病 なし	43	2.84	2.72	0.00%	65.67	
160650xx99x0xx	コンパートメント症候群 手術なし 手術・処置等2 なし	28	49.54	23.85	7.14%	83.61	
050130xx99000x	心不全 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	23	34.96	17.95	4.35%	90.70	
100380xxxxxxx	体流量減少症	19	73.16	9.33	0.00%	85.89	

内科では、地域の福祉施設や在宅の患者さんの誤嚥性肺炎が最も多くなっています。次いで、大腸ポリープの内視鏡による切除術、肺炎などの治療後の廃用症候群のリハビリテーションなどを主に診療しています。地域包括病床や回復期リハビリテーション病棟などで在宅復帰を目指します。施設入所待ちや在宅療養が困難な患者さんなどは、療養病棟に移り療養を継続する場合もあるため、平均在院日数は全国平均より長くなっています。

## 初発の5大癌のUICC病期分類並びに再発患者数

	初発					再発	病期分類 基準（※）	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	3	1	-	2	-	6	1	7
大腸癌	-	-	-	1	-	-	1	7
肺癌	-	-	-	-	-	-	1	7
肝癌	-	-	-	-	-	-	1	7
肝癌	-	-	-	-	-	-	1	7

※ 1：UICC TNM分類，2：癌取扱い規約

当院における5大癌の初発並びに再発患者数は10人未満となっています。当院では主に消化器系の癌の二次治療や経過観察を行っています。

## 成人市中肺炎の重症度別患者数等

	患者数	平均 在院日数	平均年齢
軽症	2	11.00	47.50
中等症	21	19.81	56.95
重症	4	14.50	89.00
超重症	-	-	-
不明	-	-	-

市中肺炎とは、普段の社会生活の中でのかかる肺炎のことです。当院は施設入所中や入院中に肺炎を発症する患者さんの治療が多く、市中肺炎はあまり多くありません。

## 脳梗塞のICD10別患者数等

ICD10	傷病名	発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
G45\$	一過性脳虚血発作及び関連症候群	3日以内	-	-	-	-
		その他	2	40.50	84.50	0.00%
G46\$	脳血管疾患における脳の血管(性)症候群	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I63\$	脳梗塞	3日以内	-	-	-	-
		その他	13	45.92	56.54	0.00%
I65\$	脳実質外動脈の閉塞及び狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I66\$	脳動脈の閉塞及び狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I675	もやもや病<ウイリス動脈輪閉塞症>	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I679	脳血管疾患、詳細不明	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-

当院では、脳梗塞の後遺症に対するリハビリテーションの患者さんを多く診療しています。

## 診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

### ■整形外科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K1426	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（椎弓形成）	70	6.20	20.51	0.00%	66.11	
K1423	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（後方椎体固定）	54	3.07	18.52	1.85%	61.09	
K0461	骨折観血的手術（大腿）	51	3.67	59.41	13.73%	84.16	
K142-21	脊椎側弯症手術（固定術）	19	6.32	37.47	0.00%	44.16	
K0821	人工関節置換術（膝）	16	2.38	33.56	6.25%	77.63	

整形外科では、脊椎の手術が上位を占めています。椎弓形成が最も多く、次いで後方椎体固定、大腿骨骨折手術の順になっています。椎弓形成では保存治療の後に手術を行うこともあり、成人の脊椎側弯症手術では先に脊椎固定術を行ったのちに側弯症の手術を行うという二段階の手術を取り入れているため、平均術前日数が他の手術よりも長くなっています。小児の側弯症の手術も積極的に行っており、山形県内の広い地域の患者さんを受け入れています。

### ■内科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm未満）	44	0.82	1.02	0.00%	65.93	
K654	内視鏡的消化管止血術	-	-	-	-	-	
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	-	-	-	-	-	
K0461	骨折観血的手術（大腿）	-	-	-	-	-	
K0811	人工骨頭挿入術（股）	-	-	-	-	-	

内科では、大腸ポリープの内視鏡による切除術が最も多く行っています。当院では原則2泊3日で行っており、ほとんどの患者さんは金曜日に入院、土曜日に手術、日曜日に退院という流れになっています。

## その他（D I C、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	-	-
		異なる	-	-
180010	敗血症	同一	-	-
		異なる	-	-
180035	その他の真菌感染症	同一	-	-
		異なる	-	-
180040	手術・処置等の合併症	同一	-	-
		異なる	-	-

当院におけるD I C、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の患者数は10人未満となっています。